

井の頭三丁目道路拡幅整備事業 (第2回)

前回説明会でいただいたご意見への回答

事業説明会資料

令和8年7月5日(日)

三鷹市 都市整備部 道路管理課

本日の内容

前回の説明会でいただいたご意見の回答

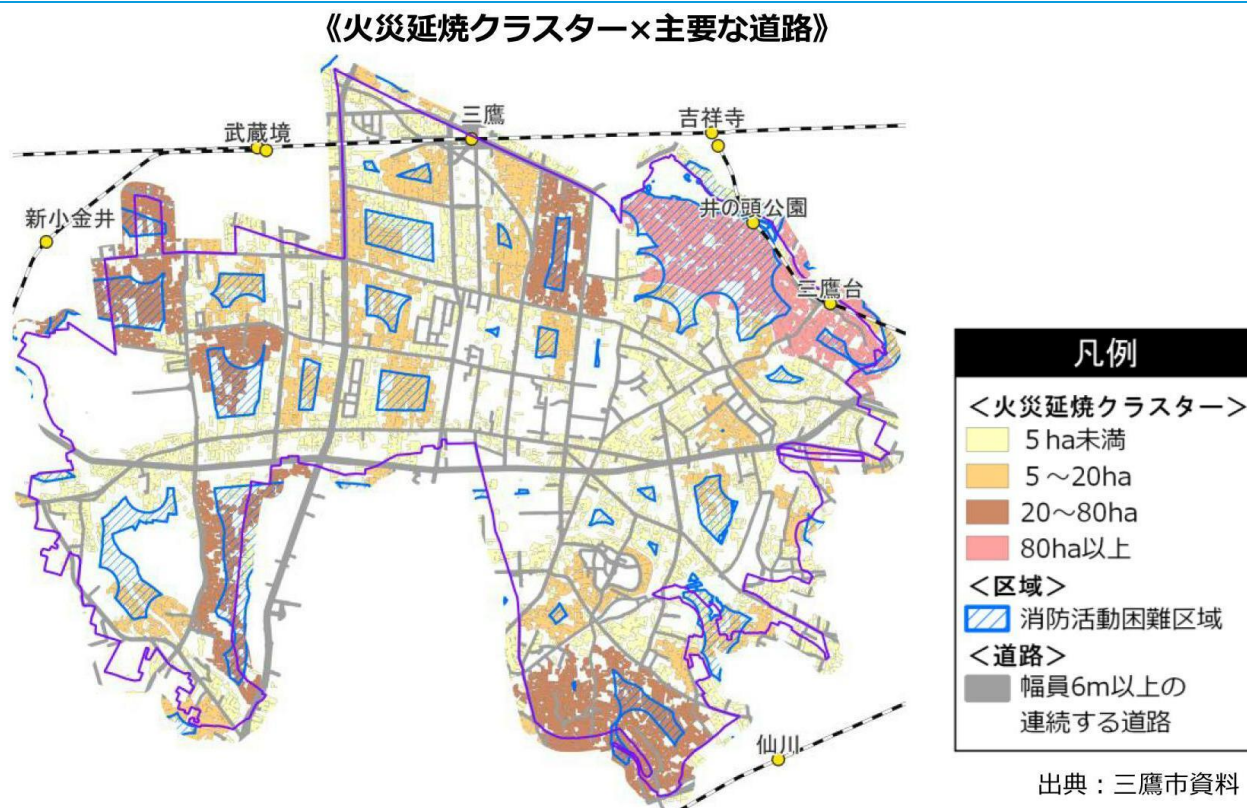
1. 今回初めてご出席された皆様への概要説明
2. 防災面でどのような効果があるのか
3. 児童遊園内の樹木はどうなるのか
4. 都市計画道路を整備すべきではないか
5. 交通の安全は確保されるのか
6. 質疑応答

1. 今回初めてご出席された皆様への概要説明

- (1) 事業の経緯・目的
- (2) 整備概要
- (3) 事業スケジュール

2-1. 防災面でどのような効果があるのか

- 消防活動の円滑化
- 避難経路の複数化による早急避難



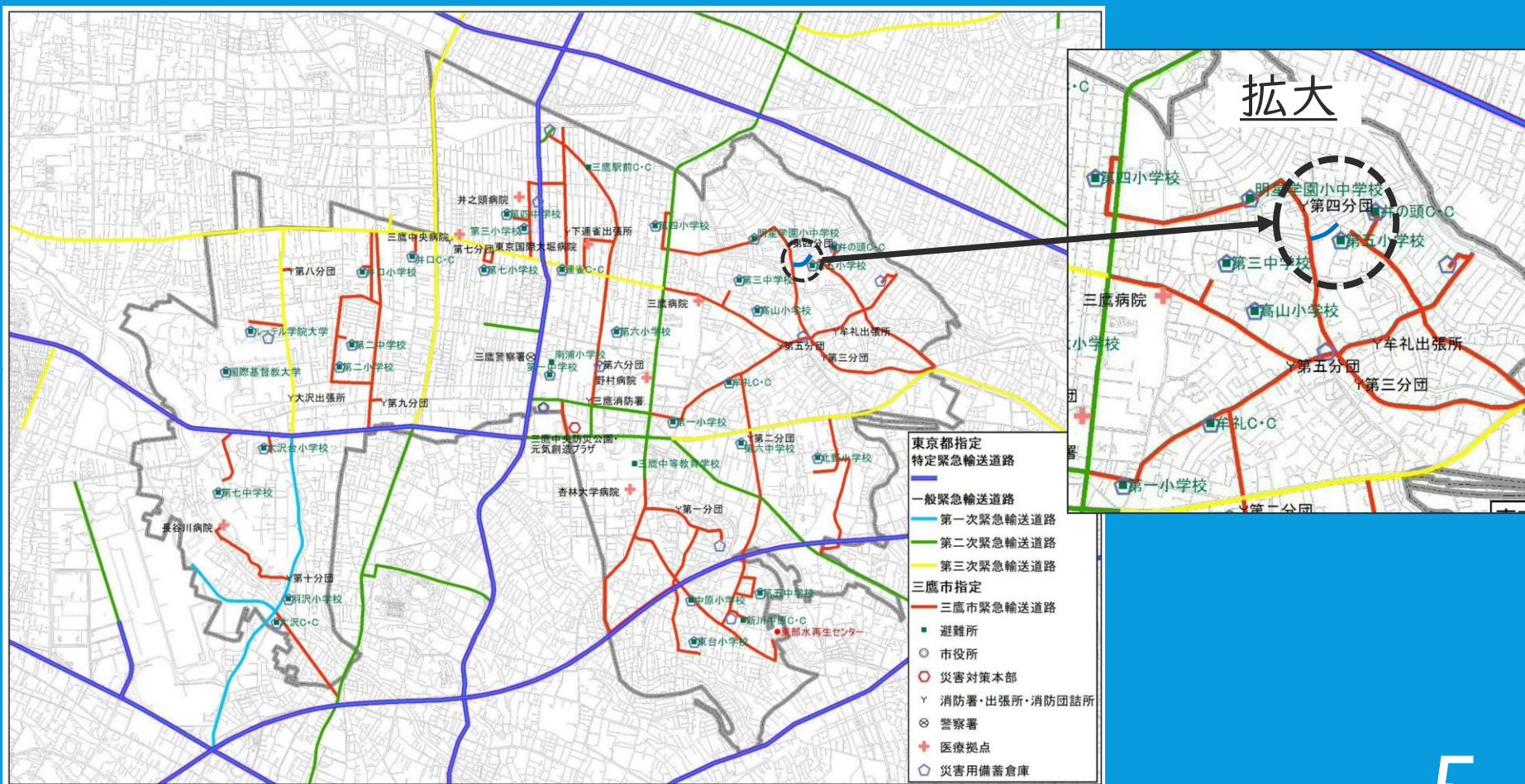
注) 火災延焼クラスター：建物の構造と建築面積より算出する延焼限界距離を踏まえた、延焼の恐れのある建物群
消防活動困難区域：消防自動車の出入り可能な幅員6m以上の連続する道路から、ホースが到達する一定の距離（140m）以上離れた区域



【三鷹市まちづくり拠点形成計画2027<立地適正化計画>
第7章資料抜粋】

2-2. 防災面でどのような効果があるのか

- 緊急輸送道路を補完する地域内輸送路として活用
- 避難所(第五小学校)への支援物資の輸送路確保



【三鷹市地域防災計画資料抜粋】

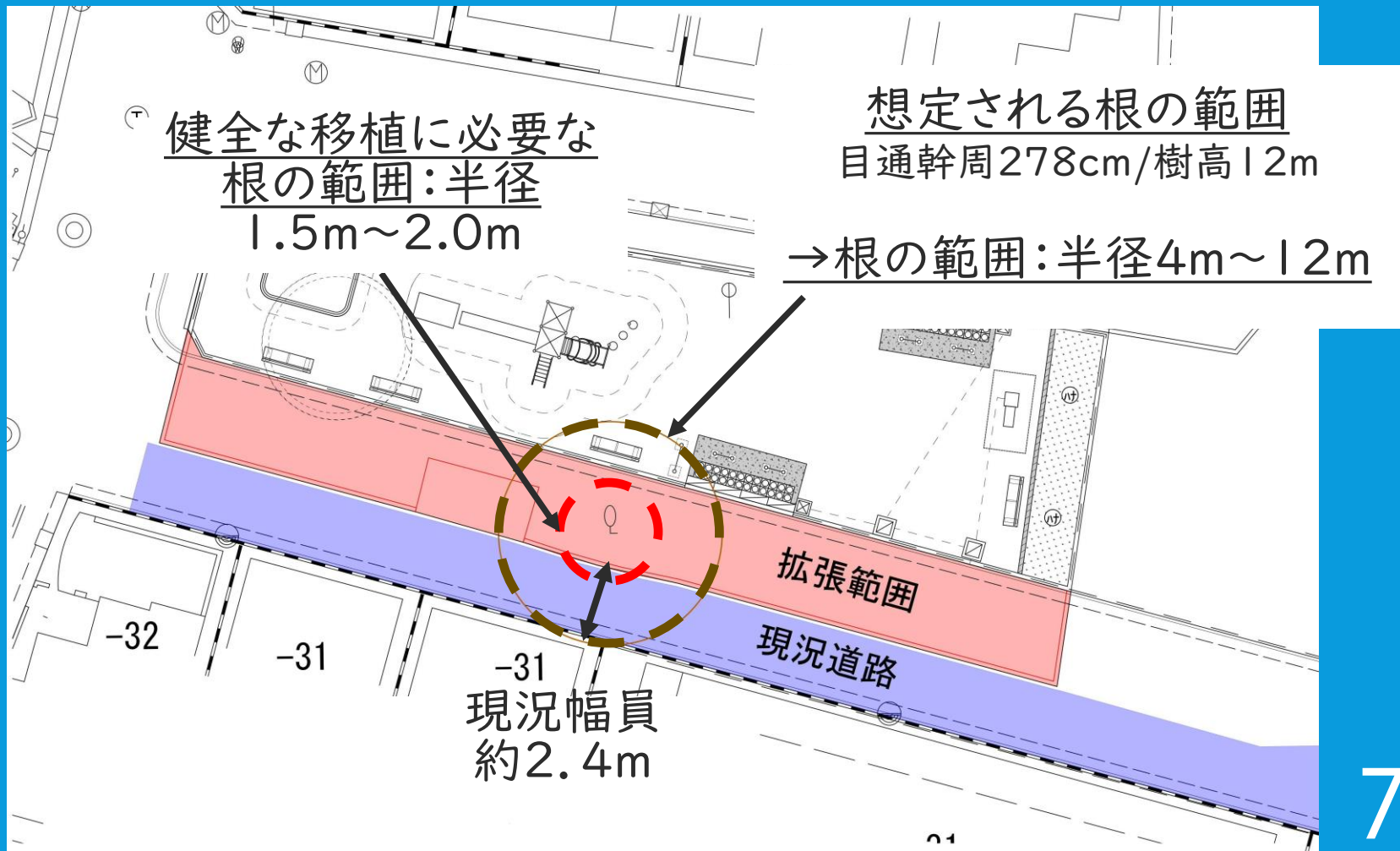
3. 児童遊園内の樹木はどうなるのか

【主なご意見】

- (1) 公園や遊歩道の樹木を伐採してまで道路整備を行う必要があるのか
- (2) 既存樹木をできる限り残してほしい
- (3) 緑陰・景観・散策空間など、公園の環境価値が失われることへの懸念がある
- (4) 公園面積の縮小による自然環境・利用環境の低下が大きい、公園部を削らずに整備できないか
- (5) 伐採後の代替植栽の内容や、緑地機能の維持方法を明確にしてほしい

3-1. 児童遊園内の樹木はどうなるのか

○現況樹木の保存の可能性について



3-2. 児童遊園内の樹木はどうなるのか

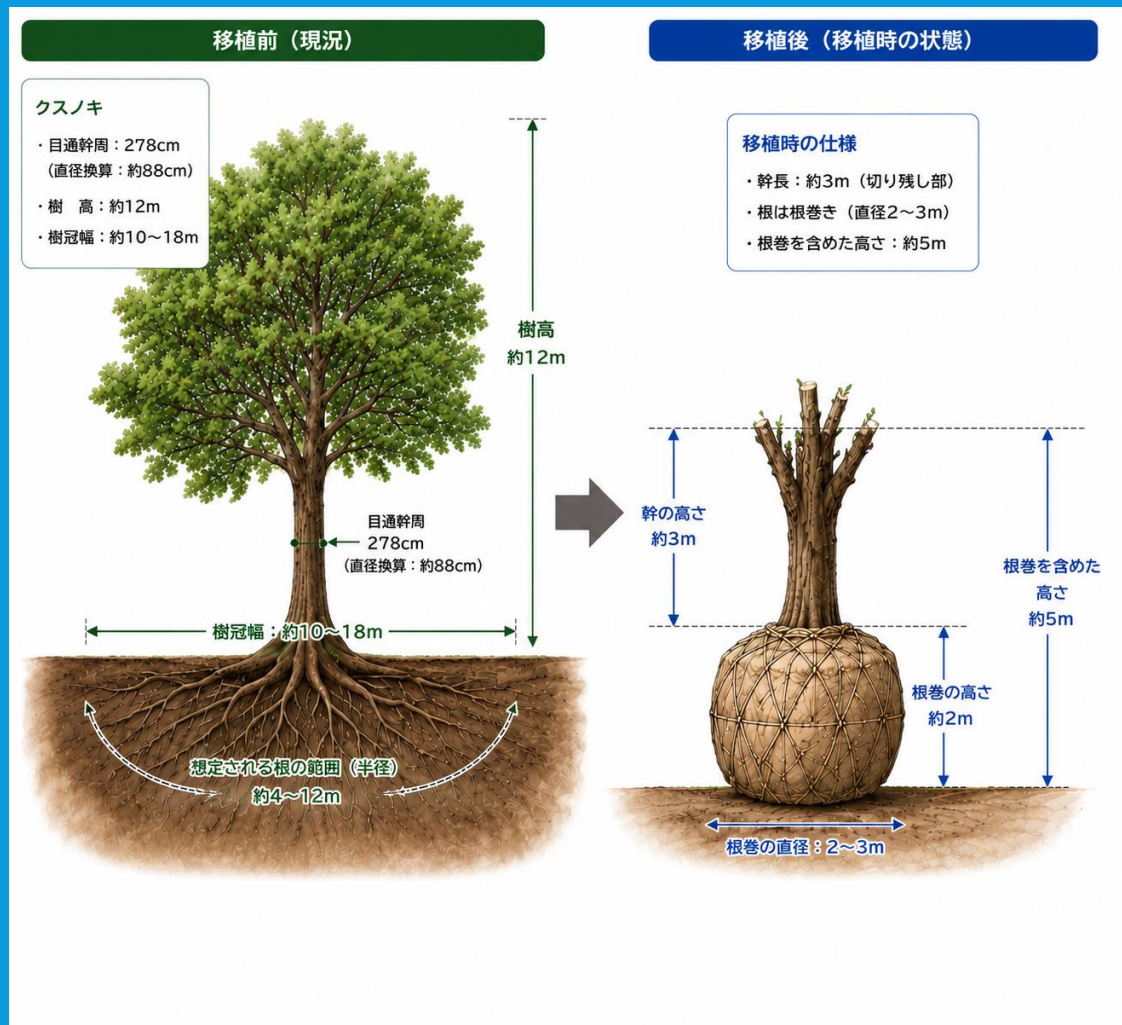
○現況樹木の移植

移植対象樹木：クスノキ

樹高約12m、目通幹周278cm

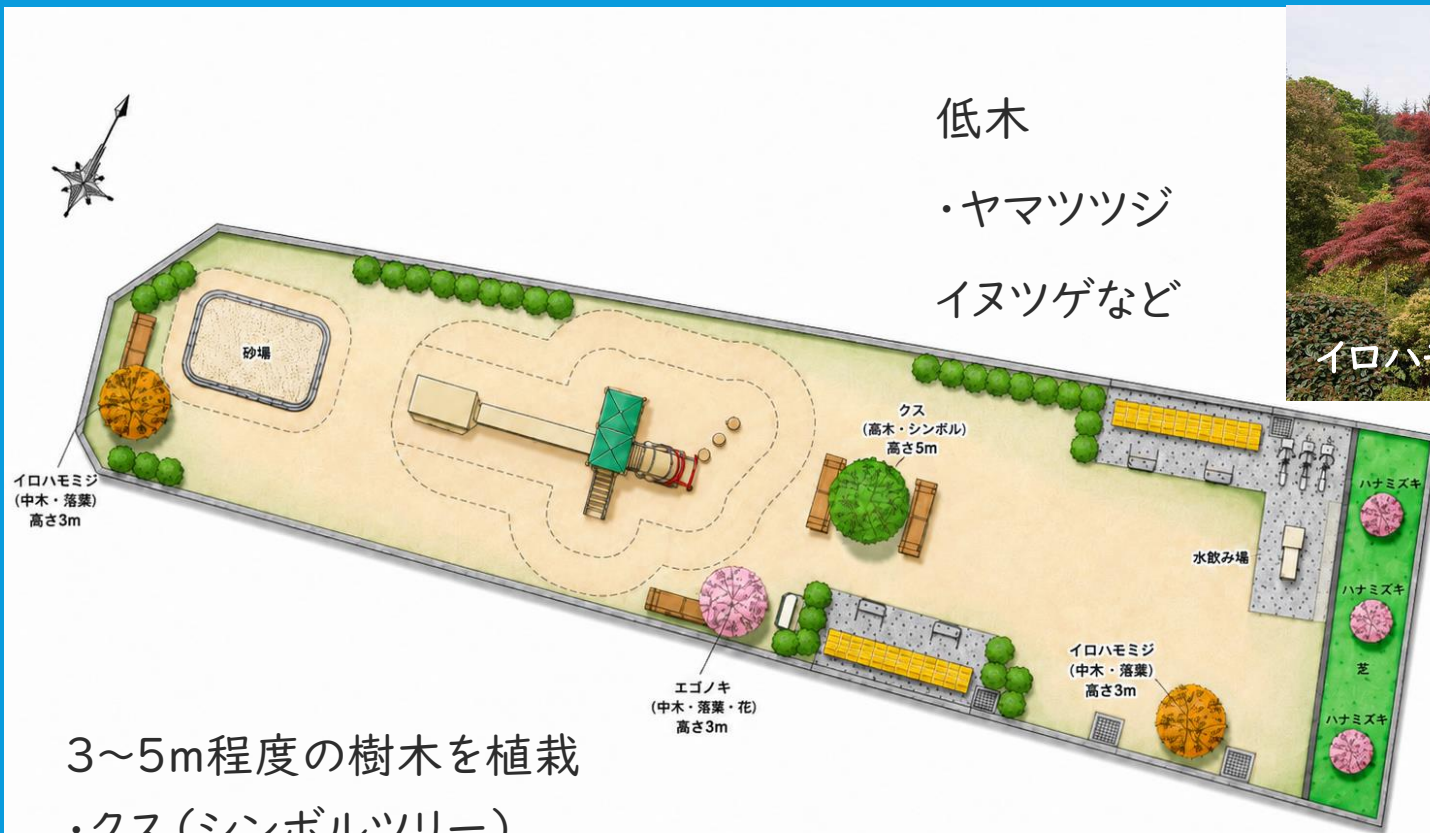
移植する場合

- ・ 根を約2～3m程度まで縮小
- ・ 樹高を約3m程度まで強剪定
- ・ 大型クレーンによる移動



3-3. 児童遊園内の樹木はどうなるのか

○新規植栽計画(植栽直後のイメージ)



3～5m程度の樹木を植栽

- ・クス (シンボルツリー)
- ・イロハモミジ
- ・エゴノキ



4.都市計画道路を整備すべきではないか

【主なご意見】

- (1) 都市計画道路を整備すれば本路線の整備は不要ではないか
- (2) 都市計画道路ではなく本路線整備を選択した判断基準は何か
- (3) 東京都が施行主体であれば、待つのではなく市の財政で先行整備すればよいのではないか
- (4) 東京都の計画の中でどのような位置付けになっているのか

ほか

4-1. 周辺の都市計画道路について



【東京における都市計画道路の整備方針】
3. 都市計画道路の必要性の検証 抜粋



5.交通の安全は確保されるのか

【主なご意見】

- (1) 通過交通が増加し、生活道路としての安全性が低下するのではないか
- (2) 抜け道利用により交通量や事故リスクが増えるのではないか
- (3) 横断歩道の設置や位置について、学校の要望が十分に反映されているのか
- (4) 一方通行化や緊急車両のみの通行にし普段利用できないなど、より強い交通規制の検討はされているのか

ほか

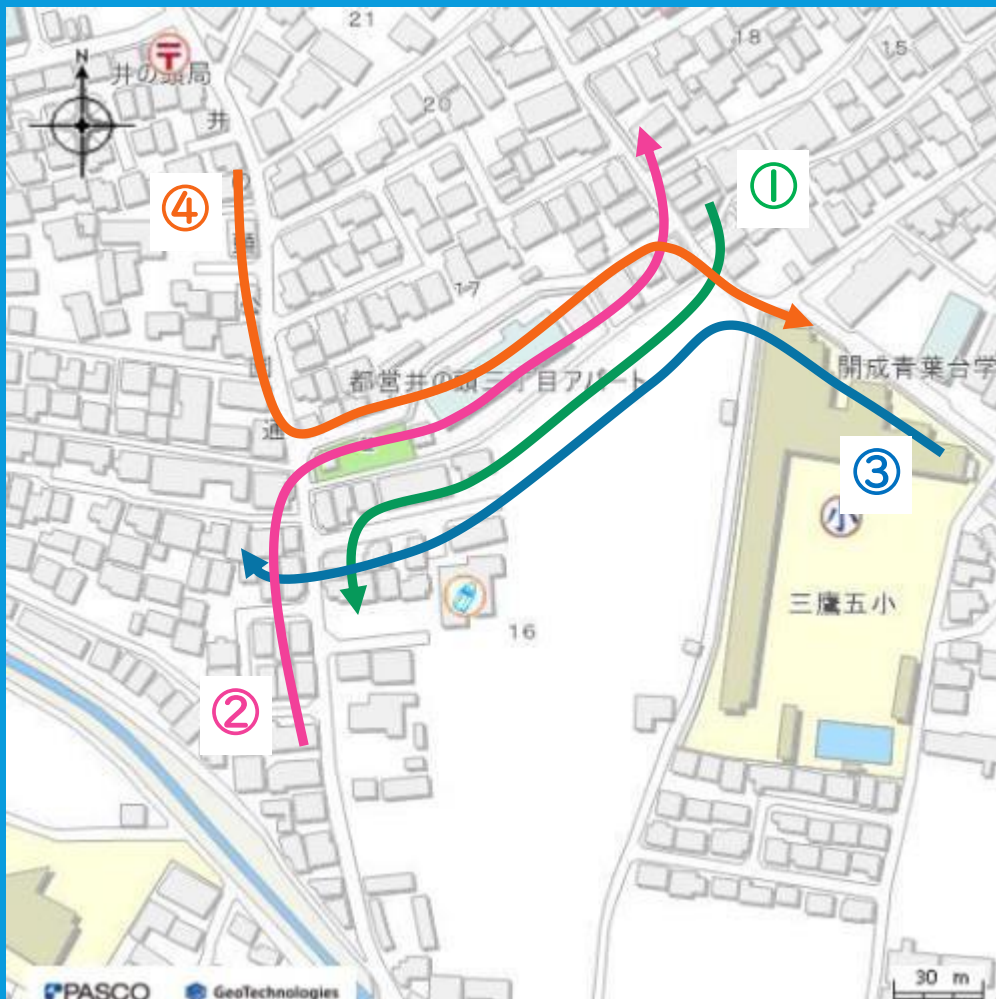
5-1.交通安全対策

○開通後の想定



5-2.交通安全対策

○交通量調査結果



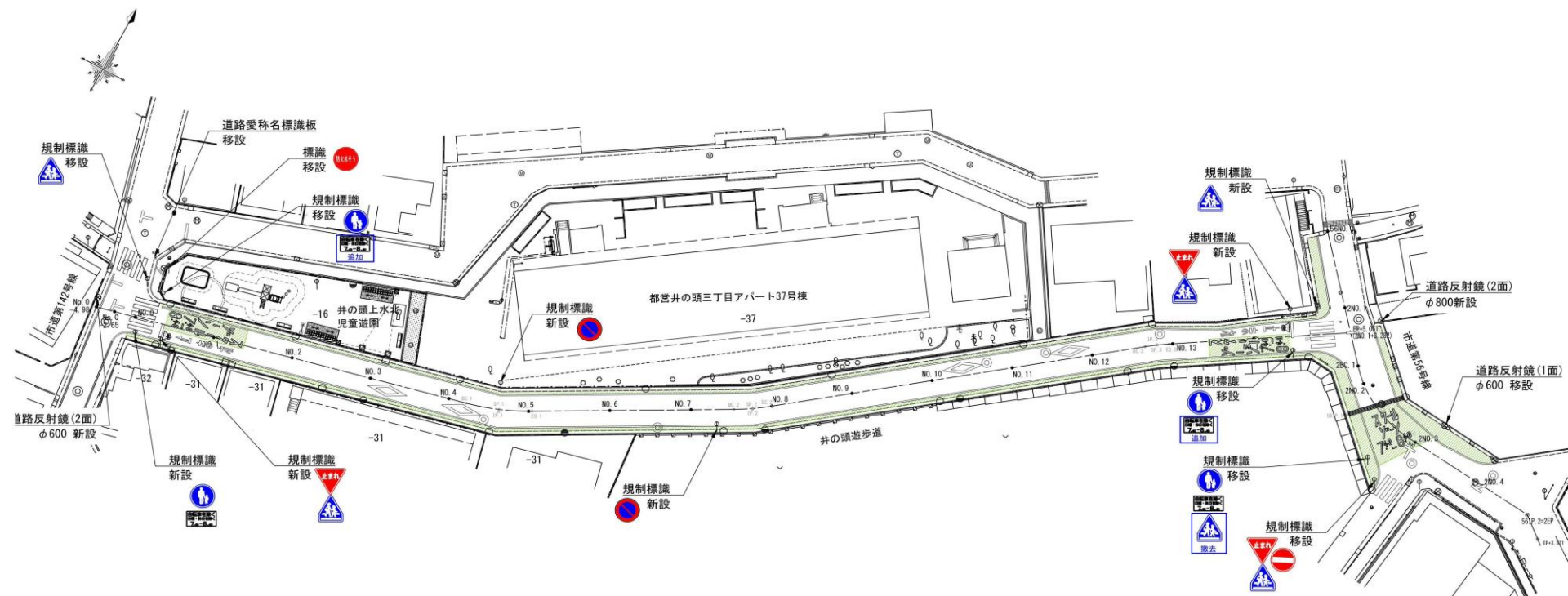
【24時間の交通量】

- ① 井の頭公園駅前通り周辺⇒第56号線
⇒計画路線⇒井の頭公園通り⇒仙川方面
小型=128台 大型=17台
- ② 仙川方面⇒井の頭公園通り⇒計画路線
⇒第56号線⇒井の頭公園駅前通り周辺
小型=173台 大型=18台
- ③ 三鷹台駅方面⇒三鷹台駅前通り
⇒第56号線⇒計画路線⇒井の頭公園通り
小型=104台 大型=12台
- ④ 井の頭公園通り⇒計画路線⇒第56号線
⇒三鷹台駅前通り ⇒三鷹台駅方面
小型=119台 大型=3台

※交通量調査は、計画路線につながる井の頭公園通り、市道第56号線、三鷹台駅前通りにおいて、午前7時から午後7時まで交通量を調査しました。小型車両については、周辺の新宿国立線の昼夜率1.27、大型車両については、東京都道路工事設計基準に基づき、12時間交通量調査結果に昼夜率1.5を掛けて24時間交通量を算出しています。

5-3.交通安全対策

○警察及び小学校との協議



- ・スクールゾーン時間規制を導入
- ・駐車防止のため駐車禁止標識を設置
- ・見通しの悪い箇所にカーブミラーを2基設置
- ・歩行者の安全確保のため、両側に路側帯を設け、緑色舗装により明示化
- ・横断歩道位置の見直し

まとめ

- (1) 地域の防災力の向上に取り組む。
- (2) 公園内の樹木は、新たな植樹により適正な管理・環境の向上に取り組む。
- (3) 都市計画道路の着手を待つのではなく、早急な地域の防災力の向上に取り組む。
- (4) 交通対策は、整備後も継続して取り組む。

6. 質疑応答

質問のある方は、挙手にて、
お名前をおっしゃていただきますようお願いいたします。

最後に

今後、受注者が決定次第、改めて工事説明会を開催する予定です。その際は、また、お知らせのビラを配布いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

本日はお忙しい中、ご参加いただき、また最後までご清聴いただき誠にありがとうございました。